

	東海市	大府市	知多市	東浦町
訪問型サービス				
訪問型サービスC（専門職による短期集中サービス）		実施なし		
事業名	訪問型介護予防事業		訪問型短期集中予防サービス	元気力向上大作戦 ぴんぴんコース
対象者の把握方法	窓口相談等		要支援認定者または事業対象者	高齢者相談支援センターによる総合相談
内容	地域支援事業の実施要綱に基づき、 保健師：サービスC終了後の地域活動へのつなぎ、自宅での体操・脳トレの実施 栄養士：低栄養予防等、適切な食事量や内容の提供 歯科衛生士：口腔機能向上プログラムの実施		相談指導により、地域活動へ移行できるよう支援	筋力強化訓練、動作訓練、嚥下訓練、栄養指導等 自宅で楽々短期間リハビリ専門ケアを目指し、理学療法士等が実施し、運動器等のアドバイスを行う ※コロナで外出を控える方も多く、需要がある
回数	3～6か月の期間で 保健師・運動機能向上8回 管理栄養士・栄養改善3回 歯科衛生士・口腔機能向上6回 各個人によって、個別の計画を策定し、必要な内容と回数を実施		3～6回（月に1回、概ね3～6か月）	1人あたり年度内最大30回
参加者	70・80代		3人	10人程度
従事者	保健師、歯科衛生士、管理栄養士		保健師、管理栄養士、歯科衛生士	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士
委託	無		無	有
委託先				訪問看護ステーショングラシア、東が丘訪問看護ステーション
終了後	1. 自宅でセルフケア 3割 2. 「100歳体操」教室へ移行 4割 3. 有料ジムへ移行 1割 4. 要介護に進む 1割 概ねの割合		実績なし	地域のサロンへつなげる
評価方法	本人へのアンケート			本人へのアンケート
評価内容	・本人の主観での満足度 ・目標が達成されているか 栄養：バランスや食事の量が取れているか 口腔：呑み込みが出来ているかなど			・運動機能 ・精神面の健康度 ・主観的健康感
評価	本人の主観で十分な満足を得ている			本人の主観で十分な満足を得ている
通所型サービス				
通所型サービスB（住民主体の事業名）	実施なし	実施なし	実施なし	
対象者の把握方法				住民主体型デイサービス 事業所に包括職員が出向き、対象者に基本チェックリストを実施。該当する方を対象者としてアプローチ
内容				地域の通いの場において、体操、運動、レクリエーション等の介護予防に関するサービス提供 町内4カ所
回数				概ね週1回以上
利用見込み人数				50人程度
従事者				住民、認定NPO法人
委託				有
委託先				地域のふれあいサロン、認定NPO法人

	東海市	大府市	知多市	東浦町
通所型サービスC(専門職による短期集中サービス)				
事業名	短期集中サービス 元気かるやか運動教室(個別型・集団型)	はつらつ運動コース	スマイル貯筋コース	元気力向上大作戦 もりもりコース
対象者の把握方法	各種活動や相談から把握	基本チェックリストで運動器該当又は要支援者のうち通所系サービスを利用していない者に案内。他、 <u>プラチナ健診受診者でハイリスク者や高齢者相談支援センターからの紹介者(ハイリスク者)に案内送付。</u>	要支援認定者または事業対象者 教室や講座でチェックリストを実施し、該当者に紹介。教室等に体力測定をし、チェックリストを組み込み、フレイルの方を抽出し、誘うなども行う。	高齢者相談支援センターによる総合相談 75歳以上にフレイルチェックを送ってスクリーニング
内容	地域支援事業の実施要綱に基づき、状況把握、目標設定、運動・生活指導、計測(前後) 個別型 本人に合わせた運動メニューを柔道整復師(接骨院)とマンツーマンで行う 集団型 理学療法士、運動指導士などから指導を受け、仲間と一緒に運動をする	運動機能改善のための運動メニュー	自立した日常生活を維持するため、個別運動器機能向上プログラムを実施し、生活機能の改善を図る	個別機能訓練、自主トレーニング、マシントレーニング、サービスの初回と最終回にリハ職が居宅訪問し、ADL・IADLの確認をする。
回数	週1回(6か月24回)	12回	12回(週1回、概ね3か月)	一人あたり最大30回
定員	5名	10人	61人	30人
従事者		委託事業所のスタッフ(理学療法士、運動指導士、柔道整復師、介護職員など)	運動指導員、柔道整復師、理学療法士	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士
委託	有	有	有	有
委託先	市内運動施設、市内接骨院 個別型・集団型実施	市内事業所4か所(介護事業所、接骨院)： 個別型でトレーニング実施	市内スポーツクラブ、接骨院、介護保険事業所 個別型・集団型実施	パーソナルケアセンターフィロス、老人保健施設相生、竹内整形外科内科クリニックデイケア 個別型・集団型実施
終了後	元気アップ教室、ゴムバンド教室、サロン参加	健康長寿塾、地域の教室やサロン等	まちかど体操クラブ(接骨院実施・無料・送迎なし)、地域の教室※空きがないので、まちかど体操クラブに流せず、事後フォローが難しい	通所型サービスB(住民主体型デイサービス)、サロン、地域の体操教室グループ、通いの場(社協)
評価方法	体力チェック、姿勢チェック、本人へのアンケート	体力チェック・本人へのアンケート	体力チェック、本人へのアンケート	体力チェック、本人へのアンケート
評価内容	教室参加前後の体力や姿勢の写真比較	コース参加前後の体力測定	コース参加前後の体力測定	・運動機能 ・精神面の健康度 ・主観的健康感
評価	初回にサービス担当者会議を開催。受講者ごとのアセスメントを把握し、教室終了後の体力チェックの内容等で評価。改善している。	コース初回、終了後の体力チェックの内容等で評価を行う。体力測定の7項目のうち、半数以上が改善している	コース初回、終了後の体力チェックの内容等で評価を行う。参加者の主観的健康感は全員改善	改善している

	東海市	大府市	知多市	東浦町
<p>一般介護予防事業</p> <p>(ア) 介護予防把握事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員等地域住民からの情報提供による把握 ・本人、家族からの相談による把握 ・高齢者相談支援センターとの連携による把握 ・高齢者の質問票によるスクリーニング 	<p>○プラチナ長寿健診 国立長寿医療研究センターに事業委託し、75歳以上の高齢者に認知症予防健診(認知機能検査や運動機能検査等)を実施、結果説明会を開催し認知症予防啓発を行う。また、認知症ハイリスク者を抽出し支援に繋げる。(年18日) ⇒保健師が訪問、フォロー実施し、「はつらつ運動教室」の紹介や困りごとがあれば、包括支援センターへつなぐ。</p> <p>○高齢者の安全運転技能検査 国立長寿医療研究センターに事業委託し、75歳以上の高齢ドライバーを対象に簡易運転検査を実施します。(年18日) ハイリスク者に対してはパンフレットによる知識啓発や自動車学校における運転技能向上講習へ繋げ、運転寿命の延伸を図る。</p> <p>○食べる機能健診 75歳以上の方に、歯科健診や口腔機能検査、保健指導をプラチナ長寿健診と同時に実施する。(年18日)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン等で行う体力測定会での把握(約16会場) 従事者は、保健師、看護師、歯科衛生士、健康づくりリーダー等。 ・民生委員等地域住民やあんしんとなり組等からの聞き取りにより把握 ・ハイリスク者訪問 脳とからだの健康チェック(国立長寿医療研究センターとの連携事業)の結果で軽度認知障害又はフレイルの状態にある者を対象に訪問し、フレイルチェックを行い、必要な支援につなげる。(包括へ紹介、短期集中サービスCや教室を進める。) ・低栄養予防事業による把握(65～74歳) 低栄養のリスクのある者を対象に、管理栄養士、保健師等が個別訪問指導を行う。 	<p>国立長寿医療研究センターとの協定に基づく後期高齢者健診結果に基づいたフレイル高齢者の抽出及び介入</p>
<p>(イ) 介護予防普及啓発事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防講演会 1回/年 講師：星城大学、リハビリ専門職 ・コグニウォーキング講座 4コース(1コース3回)/年 講師：理学療法士、栄養士、歯科衛生士 ・コグニウォーキング講座フォローアップ個別相談(4回) 講師：リハビリ専門職(理学療法士、言語聴覚士、作業療法士) ⇒1回目各個人のアセスメントを行う。1、4回目はリハビリ専門職が入り、各個人の姿勢・筋肉の付き方などからアセスメント、評価を行い、終了後の生活の中でできるアドバイスをする。 	<p>○健康長寿塾 市内4カ所の公民館で、地域の運動指導員による介護予防のための運動や健康相談・講座等を毎週実施する。柔道整復師会と連携し、運動指導員として柔道整復師を派遣する(長草校のみ年4回)。運営補助にボランティアの協力を得ている。主に高齢者の自由参加。 47回×4会場=回(通年、年末年始を除く)</p> <p>○老人クラブ等健康教育 保健師・歯科衛生士・栄養士が地域の老人クラブ、サロンへ出向き健康教育を実施する。</p> <p>○コグニバイク 保健センター内にコグニバイクを4台設置しコグニサイズジムとして開設。新規の利用者に対して使い方講習会を開催する。</p>	<p>パンフレット等の作成及び配布や以下に挙げる介護予防教室等の開催により、介護予防活動の普及、啓発を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく健康アップ講座」 一般高齢者を対象とした健康づくり教室。6回1クール、年間3クール開催予定。従事者は、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士。 ・「いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操」 サロンやコミュニティ等において実施。スタッフを週1回、全4回程度派遣し、実施方法を指導。指導終了後、サロン等で自立し、実施をする。年間2団体程度を予定。従事者は、保健師、歯科衛生士、理学療法士等。 ・「脳トレ教室」 サロンやコミュニティ等において、認知機能予防教室の実施。スタッフを週1回、5か月間派遣し、実施方法を指導。指導終了後、サロン等で自立し、実施をする。従事者は、保健師、看護師等。 ・「まちかど体操クラブ」 フレイルや認知症の予防や交流を目的とした高齢者が気軽に通える体操教室を市内各所の接骨院・事業所で週1～3回程度行う。 ・「動画作成」 百歳体操のDVDを継続実施者向けに更新する。 ・「介護予防通信」 健診受診者等に、介護予防や健康づくりに関する情報を「介護予防通信」として提供する。 <p>⇒コロナ対策で実施。今年度で終了。(良かった点)介護予防通信を読んだ問合せが多かった。普段、相談のない方からの相談があり、一定の効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施(80回程度) ・介護予防講演会の実施(2回) 	<p>元気アップ教室(プラザ)、筋力トレーニング教室(プラザ)、脳トレ教室、ゆっくりウォーキング教室、ゆったり体操教室、シニア料理教室、ふれあいサロン出前講座、地区健康相談、健康マイレージ、骨折予防プロジェクト</p>

	東海市	大府市	知多市	東浦町
(ウ) 地域介護予防活動支援事業	<p>・ボランティア養成講座（人生これから大学） 新たな社会参加の促進を目的に地域活動の人材育成講座を開催する（社会福祉協議会と共催）。</p> <p>基礎講座2回、専門講座3～4回（6講座）、修了講座1回 修了後の地域活動につながるようなプログラムとする。</p> <p>・専門職の派遣（デジタルサポーター20回分、音楽療法士13回分）</p> <p>・脳トレいきいき百歳応援事業（R3 37団体登録済。R4 40団体目標） いきいき百歳体操の拡充を図るために、登録制とする。</p> <p>①クローズ型 体操のDVDを提供する。 初期支援として、2回程度錘の貸し出しや体操の指導を行う。</p> <p>②オープン型 体操のDVDを提供する。 初期支援として、4回程度錘の貸し出しや体操の指導を行う。 プログラムを進行するサポーターの派遣を行う。 随時、参加者を受け入れる。</p>	<p>【常設サロン推進事業】 週4日以上、1日4時間以上開設する常設サロンの設置を促進するために、補助要件に該当する常設サロンに対し、初期活動経費、運営費及び賃借料（家賃相当）について補助金を交付する。</p>	<p>サロン代表者会に専門職等を派遣し、介護予防プログラムの提供・指導を行うことにより、住民主体の介護予防活動を育成・支援する。</p> <p>・柔道整復師等 1回 ・保健師 1回 ・介護予防・日常生活支援推進事業補助金 団体等が行う助け合い活動やサロン事業等を育成・支援する。 ・地域介護予防活動担い手育成委託事業 活動団体・ボランティア等の育成講習会を実施する。</p>	いきいき100歳体操教室
(エ) 一般介護予防評価事業	実施予定なし		介護保険事業計画に定める目標値の検証及び一般介護予防事業の事業評価を行う。	
(オ) 地域リハビリテーション活動支援事業	<p>・専門職の派遣（リハビリ専門職30回） リハビリ専門職の派遣は、個別訪問を中心とし、（短期集中利用前のアセスメントや見立て、住環境に照らし合わせた運動機能向上プログラムへの助言など）状況により通いの場への派遣を行う。⇒「評価」派遣したリハビリ専門職によるアセスメント、プラン実施によるモニタリングまで各個人の目標達成度の報告を受ける</p>	<p>○健康長寿塾 理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士が交代で地域の介護予防教室会場（健康長寿塾）へ出向き、健康教育を実施すると共に個別相談に対応する。（長草校のみ理学療法士の代わりに作業療法士又は言語聴覚士の派遣もあり）</p> <p>理学療法士 16回×4会場＝64回 管理栄養士 4回×4会場＝16回 歯科衛生士 12回×4会場＝48回</p>	地域における介護予防の取組の機能強化を図るため、住民向けの出前講座やサロン活動等に専門職を派遣し、介護予防に関する技術的助言を行うほか、介護予防事業の運営全般に係る技術的な面での指導・助言を受ける。	療法士派遣事業
その他事業（委託事業外）				
	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として、ハイリスクアプローチを行う。</p> <p>○栄養パトロール（低栄養者への訪問）（全域） ○口腔フレイル者への訪問（一部地域） ○身体フレイル者への訪問（全域） ・健診未受診かつ医療受診歴なし者への訪問（包括と共同実施） 必要に応じて医療・介護サービスの接続や短期集中サービスや通いの場につなげていく。</p>	<p>○栄養パトロール 介護と保健の一体的実施 健康診査未受診者で内科系医療機関への通院歴のない75歳以上の方に、低栄養からフレイル状態になることを予防するために管理栄養士が個別訪問指導を実施する。</p> <p>○コグニート（介護・認知症予防のための外出手帳）保健福祉事業支援交付金 日常生活における活動内容や歩数を記録できるノートを配布し、定期的に公民館等に設置してある現地出力システムでフィードバック用紙を印刷する。</p> <p>○ハイリスク者フォロー 介護と保健の一体的実施 プラチナ長寿健診・食べる機能健診・栄養パトロールでハイリスクとなった者に対して事後支援（訪問・面接・電話）を保健師・管理栄養士・歯科衛生士で実施する。</p>	<p>○コグニ倶楽部 国立長寿医療研究センターが研究事業の一環で65歳以上の希望者に対して実施する健康増進教室。スマホアプリを使用した活動促進や運動を行う「運動コース」と専門家による健康講座を受講する「健康講座コース」があり、認知症予防や健康維持効果を検証する。</p> <p>○健康と人の絆づくり隊 週に1回、おおむね5人以上でラジオ体操をする団体を登録。ラジオ体操を通じて個人の健康づくりを推進するとともに、人と人の絆（コミュニケーション）づくりへとつなげる。</p>	<p>○暮らしのガイドブック「助さん」を配布。高齢者の生活に必要な事業を案内。問合せ時に「助さん」の〇〇ページを見てくださいと説明することで目で見て分かりやすい情報提供を行っている。</p>
評価				

	東海市	大府市	知多市	東浦町
	<p>・本人への聞き取りによる評価や教室の前後での体力チェックで改善している</p>	<p>・プラチナ健診は毎年継続して受診している方は要介護発生率が低い。 ・栄養パトロールでは介入前後の栄養状態は変化がなかった、改善することが出来た。 ・健康長寿塾では、年に2回宅力測定を実施し、握力や5m歩行に改善が見られた。 ・コグニノートでは長期間利用しているの方が新規要介護発生までの期間が長くなっている。</p>	<p>・本人への聞き取りによる評価や教室の前後での体力チェックで改善している</p>	<p>・理学療法士から生活動作や身体機能の評価を得ている ・本人への聞き取りによる評価や教室の前後での体力チェックで改善している</p>

	東海市	大府市	知多市	東浦町
コロナ禍での事業実施における取組	<ul style="list-style-type: none"> ・通所型サービスC（短期集中サービス）「元気かるやか運動教室」ではコロナ初期は教室を止め、徐々に再開をし、消毒配布を行った ・様々な講演会、養成講座を中止した中で百歳体操のDVD配布等に力を入れた。 ・閉鎖されていた通いの場再開の際に、保健師が出向き、感染症予防指導や体調確認を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コグニバイクは腰痛により長時間歩行が難しい方や集団活動が苦手な方の介護予防に役立っていますが、コロナ感染症の影響で、台数を制限したり、予約制とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「介護予防通信」を作成。65歳以上の全世帯へ郵送 ・オンライン出前講座実施 ・介護予防体操に関する動画「ほぐれ〜る♪そよかぜ体操」を作成し、市のYoutube公式チャンネルに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数の制限や換気、消毒を行いつつ、事業継続
課題	<p>評価については、本人への聞き取りなど主観的な評価になりがち。教室の前後での測定やモニタリングをおこなうものの数値での評価は難しい、また、事後フォロー体制に課題がある。</p>	<p>終了者の中で、長寿塾や毎年健診を受ける、包括につながっている方はフォローできるが、どこにも引っかからない方をいかに把握するかが課題</p>	<p>介護予防の評価をどのように行っていくかが課題</p>	<p>対象者の拾い上げや終了者の追跡調査が出来ていないことが課題</p>

広域連合の総評

4市町へのヒアリングを通して、市町は介護予防事業実施において、市町が評価を行っていることが分かりました。しかしながら、本人の主観的健康感の評価では分析が難しく、また、体力測定の数値の効果が見られても介護度とどう結び付けて分析するかも難しく、このことについては、市町の保健担当課が課題として捉えておりました。東海市では短期集中サービスを利用した方の追跡調査を行うことで、要介護（要支援）になることが遅れていることが分かり始め、引き続きの調査を検討しています。知多市でも長く続いている教室の中で、長く参加している方の状態を分析することで、数値分析できないか検討を始めております。この取組を情報共有することで介護予防支援を進めます。